「確率論をランダムに歩いて」

志賀 徳造（東京工業大学理工学研究科）

私が確率論の研究を始めて40年以上になりますが、この間に確率論は著しい発展を遂げてきました。その中を私はランダムウォークのように右往左往しながらやってきたのですが、その間の確率論の発展を概観するとともに、近年私が取り組んできた「Parabolic Anderson model」や「ランダム環境下の確率モデル」の問題についてお話ししたい。